

授業展開案 高等学校家庭「家庭基礎」

1 テーマ

高齢化の現状を知ろう

2 I C T 利活用のねらい

本単元の 1 時間目として、高齢期の生活について学習する意義を理解させる際に、統計データを示す。質問形式や計算の作業を取り入れ、最新の数値データを示すことで、興味・関心を持たせるとともに、現状を知り、自分の生き方を考えさせる。

3 利活用する I C T 機器及びソフトウェア

①機器：電子黒板、学習者用端末

②教材：「高齢化の現状を知ろう」(Microsoft PowerPoint)

4 I C T 利活用の場面

学習内容	I C T 利活用の場面												
<p>ライフステージの変化について理解する。</p> <p>高齢化の現状について学習する。</p> <p>今後の解決すべき課題について考え、発表する。</p>	<p>①動機付け：学習者用端末を使い、ライフステージの変化についてスライドを表示する。</p> <div data-bbox="804 1084 1211 1386" data-label="Image"> </div> <p>②説明の補助：電子黒板にデータ、グラフを表示する。</p> <div data-bbox="820 1572 1206 1865" data-label="Figure"> <table border="1"> <caption>7%から14%になるまでにかかった年数</caption> <thead> <tr> <th>国</th> <th>年数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>フランス</td> <td>115年</td> </tr> <tr> <td>アメリカ</td> <td>72年</td> </tr> <tr> <td>スウェーデン</td> <td>89年</td> </tr> <tr> <td>日本</td> <td>24年</td> </tr> <tr> <td>韓国</td> <td>70年</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>③発表：問題点や課題を、個人またはグループで考えさせ、結果を学習者用端末から教師側に送らせ、回収する。集まった意見を電子黒板で提示する。</p>	国	年数	フランス	115年	アメリカ	72年	スウェーデン	89年	日本	24年	韓国	70年
国	年数												
フランス	115年												
アメリカ	72年												
スウェーデン	89年												
日本	24年												
韓国	70年												

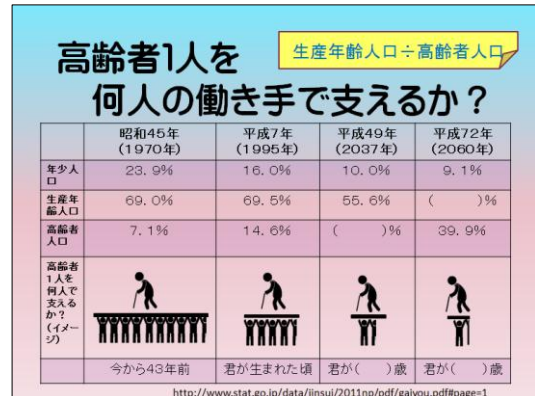
5 ICT利活用のポイント

①動機付け

ライフサイクルの変化を理解し、人の一生を見通す中で高齢期の長さを確認させる。昔と現代との長さの違いを実感することで、家族や自分の高齢期の生活をイメージさせ、自分自身の課題として捉えさせる。また、数値データを示すことで興味・関心をもたせる。

②説明の補助

質問の答えを予想させることや、データから計算させる作業を入れながら、現状の理解を深める。



③発表

問題点や課題を、個人またはグループで考えさせ、結果を学習者用端末から電子黒板に送らせ、回収する。集まった意見を電子黒板で提示する。



考えてみよう！

このような高齢社会の現状から、高齢者の生活にはどのような課題が考えられるか？また、高齢者と関わる者として、どのような役割を果たすべきか？

高齢者の生活の課題	家族、地域、社会の役割